

# 新学習指導要領が目指す 高校英語の指導と評価のあり方

2021年11月13日（土）13:30-17:00（予定）オンライン開催

対象：高校英語教員・本テーマに関心のある方

定員：300人（申込先着順）

桃山学院教育大学ではこの4月「小・中・高等学校教諭に必要な指導力と英語指導の能力を高め、学校現場が求める英語に精通した教員」の養成をめざし「英語教育コース」を設置いたしました。

今回新たなコースの設置を記念し学校現場の皆様とともに「新学習指導要領が目指す高校英語の指導と評価のあり方」をテーマに、効果的な英語指導の在り方について考えてみたいと思います。

## 記念講演会プログラム

オンライン開催

◇主催者挨拶◇ 中西正人・桃山学院教育大学学長

◇講演1◇ 鈴木寿一 桃山学院教育大学 人間教育学部 教授

「即興力・やり取り力を伸ばす指導 — 行うべきでない指導と行うべき指導」

新学習指導要領で求められている「即興による英語での発表力・やり取り力」を伸ばすための留意点と「行うべきでない指導」を最初に指摘します。その後、コミュニケーションにおける言語の理解・産出の過程と、これまでの英語教育研究と高校現場での実践の成果に基づいて、学習者の英語力に応じた「行うべき指導」を具体的に提案します。

◇講演2◇ 竹内 理 桃山学院教育大学 特別客員教授

（関西大学 大学院外国語教育学研究科長・外国語学部長・教授）

「新学習指導要領で目指している英語教育とは — 指導と評価の一体化のために」

学習指導要領の改訂のエッセンスを英語教育の観点から概観し、そこから考えられる評価のあり方、指導のあり方を解説します。これにあわせて、バックワードデザイン、繰り返しの意義（repetition vs. recursion vs. iteration）、形成評価・中間指導、テストのあり方などについても言及します。

◇閉会挨拶◇ 鎌田首治朗 桃山学院教育大学 人間教育学部長・教授



桃山学院教育大学

St. Andrew's University of Education

〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台4-5-1

TEL:072-288-6655 FAX :072-288-6656

お申込み先（右のQRコードからも可能です。）

lecture@andrew-edu.ac.jp

「英語教育コース開設記念講演会」係 まで

